

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年9月4日（月）

2 確認箇所

A L P S 処理水希釈放出設備

3 確認項目

多核種除去設備等処理水希釈放出の状況

4 確認結果の概要

多核種除去設備により、汚染水から放射性物質（トリチウムを除く）が安全に関する規制基準を確実に下回るまで浄化されていることを確認した水（以下、「A L P S 処理水」という。）は、トリチウム濃度の規制基準を厳格に遵守するだけでなく、政府の基本方針に基づき、 $1,500\text{Bq/L}$ 未満を満足する濃度になるよう、海水で大幅に希釈され、海洋へ放出されている。（令和5年8月24日放出開始）

本日は、前回に引き続き、放出中のA L P S 処理水希釈放出設備の運転状況等を確認した。（図1及び図2）（前回確認日：[令和5年8月31日](#)）

○移送設備

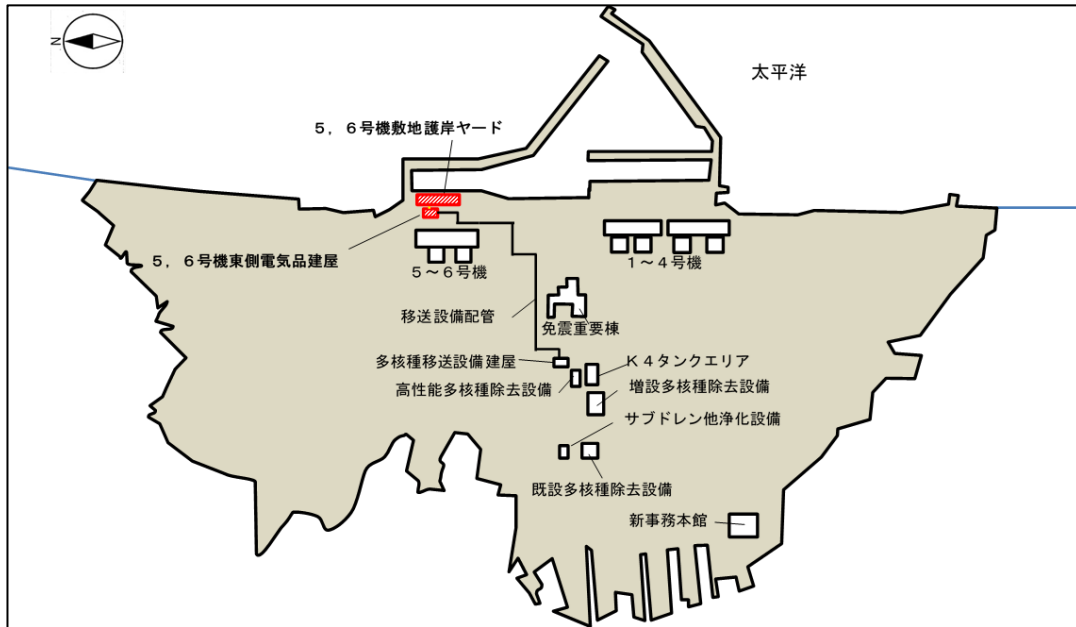
- ・5・6号機東側電気品建屋内において、移送配管、流量調整弁、緊急遮断弁－1等を確認したところ、漏えいや機器等の異常は認められなかった。（写真1）

○希釈設備

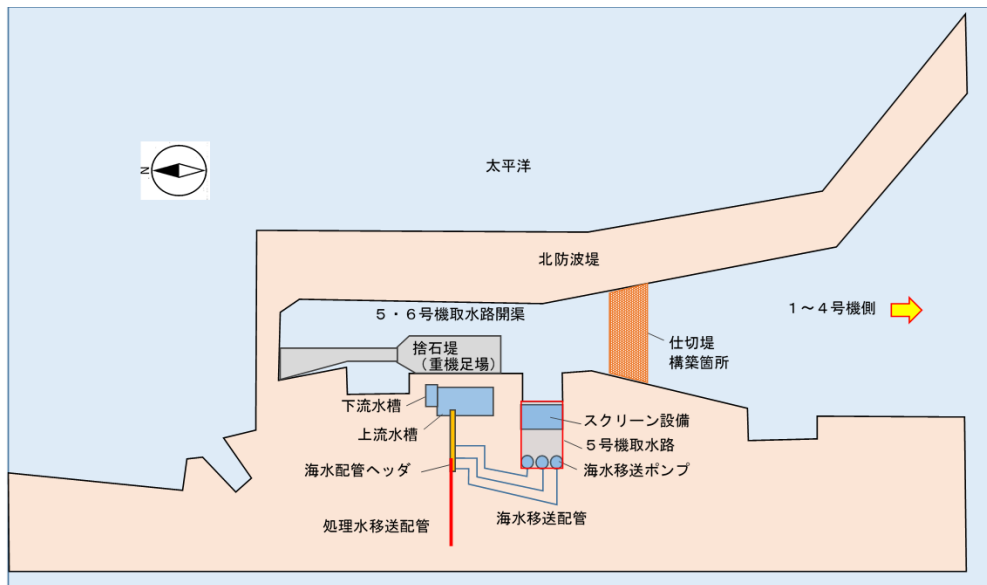
- ・5・6号機敷地護岸ヤードにおいて、海水移送ポンプ、海水配管及び海水配管ヘッダ等を確認したところ、異常等は認められなかった。
- ・放水立坑（上流水槽）の放射線モニタの設置状況を確認した。

（写真2）

- ・希釈されたA L P S 処理水が、放水立坑（上流水槽）と放水立坑（下流水槽）の境界にある堰を越流し、上流水槽から下流水槽に流れ込んでいることを確認した。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 5・6号機敷地護岸ヤード付近の概要図



(写真 1 - 1)
5・6号機東側電気品建屋内の移送配管及び各弁等の状況①
(北西側から撮影)



(写真 1 - 2)
5・6号機東側電気品建屋内の移送配管及び各弁等の状況②
(北東側から撮影)



(写真 2)
放流立坑（上流水槽）の放射線モニタ設置状況（南東側から撮影）

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。